

竹山小学校へむけて、『しっぱい OK』の3日間

27日から3日間プレ登校を行いました。前山小学校の子ども



たちはバス通学です。朝の登校の様子を観にバス停に行ってきましたが、4つすべてのバス停に、たくさんの保護者・地域の方が子どもたちと一緒に歩いてくださったり、様子を観に来てくださったりしていて、子どもたちへの深い愛情を感じた瞬間でありました。



初日の全校集会の冒頭で私から子どもたちや先生方にこんな話をしました。「竹山小学校では、みなさんが自分で考えて行動することを大事にしていきたいと考えています。だから『しっぱいは OK』。子どもたちも先生方も失敗 OK の3日間にしましょう」

子どもたちが大人になる頃には、今以上に予測が困難な



時代【VUCA 時代】になると言われています。そうした時代を生き抜くためには学校教育も知識習得型の教育からの脱却が求められています。学習者（子どもたち）が主体的に学べるよう



に教師も「指導者」という一面と「伴走者」という一面を持ち合わせて教育に当たることが大事と考えています。子どもたちは、未知のことに対応するので、失敗 OK は当然のことと思います。よく、失敗の反対は成功でなく、挑戦しないことと言われます。竹山小学校がそうした学校になればいいなと考えています。

28 日、両校の 6 年生が企画してくれた竹山フェスティバルには、多くの参加者が出演し自分の特技を全校生の前で披露しました。ダンスにコマまわし、ルービックキューブ、縄跳びに劇など様々で、あっという間の 2 時間でした。また観ている子どもたちが出演者を自然な拍手や掛け声で盛り上げてくれていたのがとても嬉しかったです。



両校の6年生が最後の年をよりよい一年にしようとした企画を考えて行動してくれているのもとても嬉しいです。頼もしく思います。



最終日、ある子が私の所に来て、「始まる前は不安だったけど、3日間過ごしてみて楽しかったし、できることがわかった」と伝えに来てくれました。自分でつかんだ手ごたえは自信となります。その子に拍手を送るとともに、支え続けてくれた先生方や友だちに感謝です。



どの学年の先生方も子どもたちに寄り添いながら生活いただいた3日間でした。学習システムの先生方には理科や外国語活動の授業を計画いただきました。また音楽では竹山小学校の校歌をこの機会に

指導いただきました。子どもたちの元気な歌声にこちらも元気をもらいました。

子ども園の子たちも3日間、バスや徒歩での登校練習を実施

しました。保護者の皆様には大変お世話になりありがとうございました。最終日には１年生との交流会もあり、園に帰ってから「また行きたい」などと話をしている様子子ども園の先生方からお聞きして嬉しい限りです。

３月になりました。竹田小学校最後の１か月、これからも子どもたちと思い出を創り上げるとともに、４月からの準備も進めていきたいと考えています。

